

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 JROAD-DPC を使用した、劇症型心筋炎の疾患登録とその解析』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 循環器内科 職位・氏名 助教 矢崎 義行

### 【研究の目的】

心筋炎は、心臓の筋肉(心筋)に炎症が及ぶ病気です。自然と改善する場合がありますが、一定数の患者が心臓のポンプとしての働きが低下したり、命に関わるような不整脈を発症したりする場合があります。心筋炎が重症化した場合、劇症型心筋炎と呼び、血圧を上げる薬(昇圧剤)を使用し、血圧を保つために、補助循環装置を必要とすることがあります。

劇症型心筋炎は、致死率の高い疾患ですが、近年、補助循環装置の装着などにより、救命できる例も増えてきました。しかし、劇症型心筋炎は発症率が低いため、現状では、近年の治療の実情を反映した、有効な治療法等を確立するための基礎資料とすべき十分な全国規模の調査はありません。

そこで、奈良県立医科大学を取りまとめ施設として、東邦大学医療センター大橋病院循環器内科を含む日本全国の施設から過去の診療情報を収集し、劇症型心筋炎の患者背景、検査データ(血液検査や心臓超音波検査など)、入院中や退院後の治療などについて調査し、治療の現状や、予後に何が影響するのかについて明らかにすることを目的として、本研究を実施します。

東邦大学医療センター大橋病院循環器内科では、対象患者さんの臨床データを奈良県立医科大学に提供することにより、本研究に関与します。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2012年4月1日～2017年3月31日に当院に入院された劇症型(強心薬や対外循環補助などの治療を要する重症型)の心筋炎患者さんを対象

方法:診療録(カルテ)から抽出した臨床データを解析します。

### 【研究に用いられる試料・情報】

患者情報(例:年齢、性別、入院中や入院後の検査・治療内容、予後)の抽出し、解析します。研究に伴う追加の検査等はありません。

### 【外部への試料・情報の提供】

EDC(Electronic Data Capture: 電子的臨床情報収集)を介して奈良県立医科大学循環器に患者臨床データを提供します。その際には、あなたの個人情報が分からないように秘密保護に十分配慮して管理します。

### 【研究組織】

代表施設名:奈良県立医科大学 循環器内科 研究代表医師:尾上 健児 役職:学内講師

研究協力施設名:東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 研究責任医師:矢崎 義行

役職:助教

共同研究機関名:国立循環器病研究センター 循環器病統合情報センター

医師:宮本 恵宏 役職:センター長

**【個人情報について】**

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

職位・氏名 助教・矢崎 義行

電話 03-3468-1251 内線 7131